

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------|----|--------------------|
| ○事業所名 | つつじkidsクラブ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 7 年 4 月 1 日 | | ～ 令和 7 年 12 月 26 日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 11 | (回答者数) 11 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 7 年 4 月 1 日 | | ～ 令和 7 年 12 月 26 日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 8 年 2 月 19 日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 子どもの様子の共有と共感的な支援 | <ul style="list-style-type: none"> 限られた時間の中でも分かりやすく伝達できるよう、伝えるタイミングを意識している。 保護者への引き渡し前に、その日の様子や支援の要点を整理し、簡潔に伝えられるよう努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員間の情報共有をより密にし、伝達漏れの防止および情報共有内容の充実を図る。 職員同士が意見交換しやすい環境づくりを進め、支援の質の向上につなげていく。 |
| 2 | レクリエーション活動の創意工夫 | <ul style="list-style-type: none"> 従来実施していなかった活動にも積極的に取り組み、活動内容の幅を広げている。 | <ul style="list-style-type: none"> SNS等を活用した情報収集により、新たな活動アイデアの導入を図る。 実施した活動内容をInstagram等で発信し、事業所の取組の可視化を進める。 |
| 3 | 適切な支援の提供 | <ul style="list-style-type: none"> 支援内容を職員間で共有し、対応の差異や認識のずれが生じないよう統一した支援を行っている。 児童発達支援管理責任者の支援方針について職員間で共通理解を図っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 人員配置や役割分担を工夫し、利用児一人ひとりに応じた支援体制の充実を図る。 |

| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 保護者間の交流・地域との交流 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者会の実施実績がなく、保護者同士の交流機会が十分に確保されていない。 保護者のニーズ把握が十分とはいえない状況である。 | <ul style="list-style-type: none"> 法入行事等の案内を通じて保護者および地域への周知を行う。 自立支援協議会等の機会を活用し、地域への情報発信を進める。 ペアレントトレーニング等に関する情報提供を行う。 近隣のフリースクールとの交流活動を通じ、地域との連携強化を図る。 |
| 2 | 苦情対応内容の周知 | <ul style="list-style-type: none"> 苦情内容によっては個人情報保護の観点から周知が困難な場合がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 環境面や支援内容に関する要望について改善を行った場合は、個人情報に配慮したうえで事業所通信やホームページ等により周知を行う。 |
| 3 | ヒヤリハット・事故報告の検証の遅れ | <ul style="list-style-type: none"> 日常業務および検討事項が多く、検証に着手するまで時間を要する場合がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 検証実施の時期を明確化し、定期的な振り返りを行う体制を整備する。 短時間でも共有・検討を行う機会を設け、再発防止および支援の質向上につなげる。 |